

中学校区におけるめざす子ども像											
① 学びの基礎をつくり、自分らしい学びを深める子ども ②他者と協力し、自他の違いを認め、多様性を尊重する子ども ③運動する習慣・意欲・能力を高め、運動に親しむ子ども											
令和7年度 重点目標											
◎ 本校の教育目標 知徳体、調和のとれた児童の育成											
重点目標 ○自ら学ぶとともに、学び合い高め合う子（知） ○人とのつながりを大切にし、多様な価値観を認める子（徳） ○未来に向けて、たくましく挑戦する子（体）											

学びの現状						体力の現状					
昨年度までの3年間、算数科を研究教科として主体的に学び合う子どもたちを育ててきた。その成果として、自分の考えをノートなどに書き、みんなで学び合って解決しようとする態度が多くみられるようになった。また、「全国学習学力状況調査」「すくすくウォッチ」において、堺市平均を上回っていた。しかし、子どもが自ら「問い」をもち学習に取り組む授業展開にすることに課題もある。そのため、子どもが自ら進んで学び、ともに高め合う授業の実現に取り組んでいくことが必要である。						本校は、児童数が多いにもかかわらず運動場が狭いという現状があり、限られた範囲の中で効率的に児童の運動量を確保していくことが課題である。全職員が、6年間の系統性をふまえた体育の授業の工夫・改善をすすめるとともに、体育の授業と体育的行事(マラソン大会やなわとび月間等)の関連性を意識した体育指導に取り組む。また、休み時間には各学年が活動できる場所を確保し、体力の向上につながる運動の充実を図る。					

大項目	中項目	具体目標	評価項目 （取り組み、成果・状態） （ ●重点とする取り組み ）	評価方法・判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認	達成状況			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	学力向上・授業改善	国語授業を通して、『自ら学びを進められる子ども』を育成するための授業改善	●子どもが自分の問いもち、自ら解決しようとする授業について研究する。	・研究授業時における協議内容 ・アンケート「自分の問いをもち授業に取り組むことができる。」で肯定評価80%以上の結果	・研究授業 ・「学校教育アンケート」	適宜 年度末	○	児童アンケートでは、主体的に学んでいるかどうかの項目で79%。「話す」の項目では82%。「聞く」の項目では95%の肯定的回答があった。各種学力調査の結果分析については、現在進めており、堺市から提供される結果に関する情報を職員間で共有している。			
			子どもが話を聴くことで、自分の考えを整理し表現できる授業について研究する。	アンケートで肯定評価80%以上の結果 ・「授業では人の話を聴いている」 ・「自分の考え発表したり書いたりして伝えている」	「学校教育アンケート」	年度末	○				
			「全国学力調査」「すくすくウォッチ」において、事後指導を各学年で行う。	「全国学力診断テスト」「すくすくウォッチ」結果の分析を行う。	「全国学力診断テスト」「すくすくウォッチ」	テスト結果後	○				
	活用	一人一台タブレット活用の推進	1日1回はタブレットを起動し、タブレットを使用する。	「1日1回はタブレットを起動する」で肯定評価80%以上	「学校教育アンケート」	年度末	○	児童アンケートでは94%の肯定的回答があった。			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権教育の計画的実践 学校図書館の活性化 あいさつへの取り組みの充実 いじめ防止の取り組み	計画的・継続的に研修をおこない、人権教育の充実を図る。 全クラス、道徳の授業を1回公開する	具体的な取り組みを実施	実践報告	年度末	○	人権教育については、計画に基づいて指導を進めている。また、諸アンケートの結果や実態共有を校内で図り、課題解決に取り組んでいる。 読書については、朝の読書タイムと学級の図書の時間を中心に取り組んでいるため、読書時間の確保はできているといえるが、意欲面については課題もみられる。 挨拶について児童アンケートでは92%の肯定的回答があった。 ネットリテラシーについて、学年の実態に応じて指導に取り組んでいる。			
			週に1回程度の読書タイムや図書の時間を設定し、意欲的に読書する児童を育成する。	アンケート「週に1回は読書をする時間を通して読書をした」で肯定評価85%以上の結果	「学校教育アンケート」	毎学期	○				
			あいさつについて職員の積極的な声かけと指導の工夫をおこなう。 代表委員会によるあいさつ運動をおこなう。	アンケート「自分からすすんであいさつをしている。」で肯定評価85%以上の結果	「学校教育アンケート」	年度末	○				
			●にこにこチェック・いじめ防止アンケートの結果による指導の徹底を図る。 ネットリテラシーの出前教室を実施する。	指導結果のチェックと100%の問題解決。 4・5・6年生での出前教室の実施	にこにこチェック・いじめ防止アンケート	毎月	○				
	体力の向上	「小学校体育指導の手引」に基づいた体育指導の実践 安全と運動量を確保した体育指導の実践	意図的・計画的に指導を行い体育指導の充実を図る。	アンケート「運動することが好きだ」で肯定評価80%以上の結果。	「学校教育アンケート」	年度末	○	児童アンケートでは 86%の肯定的回答があった。 2学期はマラソン大会に向けて体力向上の取組を行った。			
			●安全と運動量を十分に確保した体育指導の充実を図る。 ●年間を通して駆け足などの取り組みを行い、基礎体力の向上を図る。	アンケート「運動することが好きだ」で肯定評価80%以上の結果。	「学校教育アンケート」	年度末	○				

学校力の向上	信頼される教職員・学校	家庭・地域とともに子どもを支える学校づくりの推進	地域人材を活用し、家庭・地域とともに子どもを支える学校づくりを進める。	家庭・地域とともに取り組みを進める。	実践報告	年度末	○	学年・学校行事を家庭・地域の方々に協力いただきながら取り組んでいる。				
		学校情報の積極的な発信	学校通信やホームページを活用。学校の取り組みや授業の様子を発信する。	学校HPの毎日の更新をめざす。	実践報告	毎学期	○	学校ホームページにて発信を継続している。				

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）